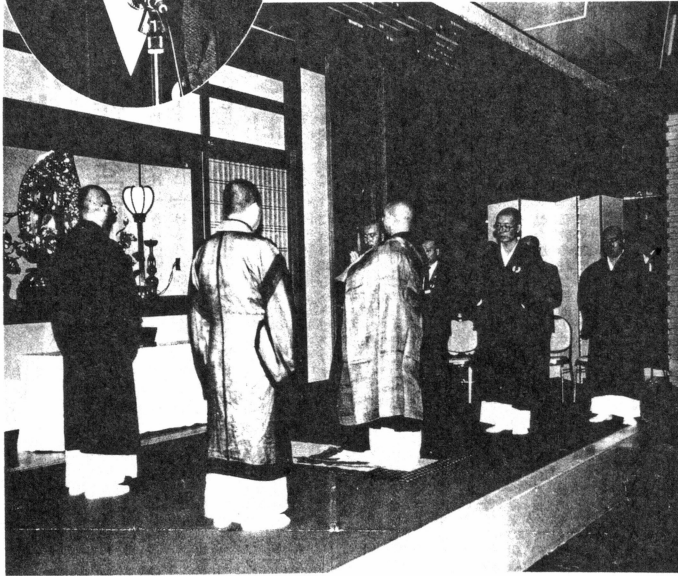




◀ 神野哲州新会長



▲ 総会前の本尊上供

総会特集

昭和62年度 全国曹洞宗青年会総会開催



発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-3 曹洞宗吉祥行内
電話 神野哲州
TEL.03-454-5411P

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

第七期 新会長に神野哲州君(愛知) 社会的価値を持つ活動の展開を

総会特集	1
総会報告	2、3
総会資料	4

さる五月十九日午後二時から宗務庁において、服部出版部長、門脇初代会長、佐藤三代会長、桜井五代会長、御臨席のもとに、全国より百余名の会員諸兄の出席を得て、全国曹洞宗青年会総会が開催された。

今回の総会は定例の事業会計の報告に加え、新執行部の選出が最大の議題であった。会長の選出は規約にもとづき、選考委員会(我妻耕道委員長)により選出され決定をみた。

総会はずっと初めに昭和六十一年度の事業会計報告に関する議案の承認後、選考委員長によって次期執行部の選考経過が説明され、第七期会長には愛知県神野哲州君、副会長には宮城県我妻耕道君、同新潟県佐藤孝一君、同愛媛県中野宣明君が紹介され、満場の拍手で承認した。

(執行部関連記事二、三面)

「社会に繁栄する曹青作り」をスローガンに新会長を中心とする執行部の今後二年に渡る活躍が期待される。

破草鞋

サアー同志諸君 草鞋を履いて旅に出よう。
自己研鑽の旅に出よう！
第七期、神野哲州新執行部の発足である。その席上、初代会長門脇元老師曰く「民衆に安心を与えなければならぬ我々宗教師が、これだけいいかと思配されている。何んか熱い叱咤激励ではないか。」
「雲のごとく定まる住処もなく、水のごとく流れゆきて、よる所もなき僧とは言うなり、墨染の衣、背後に笠をかけ、錫を手に往來をかねてゆく草鞋履の修行僧が眼に浮ぶ。」
草鞋が桐下駄に変わり、高級乗用車になったところから、とどまるを知らぬ墮落がはじまったのか？寺を董し、袒露崇拝に基く先祖供養、招福消災の加持祈禱の祭司としての役割に甘んじている。その姿勢から何が生まれ、何を覚えることが出来るのか。
祖師の教えが世の帰依を受けたのは、私意に随って死なんとする覚悟をもって、人としての真実の在り方を衆生に示し得たからである。私達もまた、仏陀の弟子として身をもって真実の教えを示さなければならぬ使命があるのだから……。

過日、自らの足で敬尊の足跡を辿られ、ついに彼の地に果てた権野能敬師の「インド巡礼(一〇八九日)」と題する遺稿集を眼にする機会があった。その紹介の中で「今の僧は仏陀の弟子たる資格をもちうるか」という自分への問いかけを失ってはいないか」と警鐘している。

寺を董し、妻子を養って行く中で、祖師方が血みどろの修行の果てにつくりあげてくれた衣の徳を借り、一体どのようにして、この使命を果していけばよいのだろうか。失いかけた信頼を取り戻していけばよいのだろうか。

旅だ 旅だ
旅に出よう
草鞋が摺切れ、破れるまで
人生一生修行の旅だ

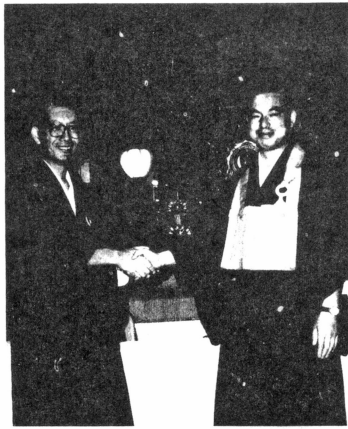
大衆教化の接点を求めて

社会に繁栄する曹青作りを目指して(所信)

第六期執行部によって打ち出された「団体加入」の方式は多くの青年会の理解を得ることができました。今期執行部もこの形態を継承いたしますが、これによって充足以来懸案となっていた組織の充実が達成されるものと判断いたします。

現在の全曹青は確立した組織を基礎に、改めて充足の原点を押し進める時期であります。

全曹青は充足以来「大衆教化の接点を求めて」をテーマにして活動を進めてきました。そして具体的な項目として青年宗侶のエネルギーを結集しよう。社会的価値ある活動をしよう。青年宗侶の自覚を促そう。地域における活動の連携を深めよう。を掲げています。ここに宗門青年宗侶の活動の願いが凝縮されています。



▲第6期吉岡会長(右)より第7期曹青を引きつく(神野新会長(左))

すなわち近年、仏教の社会性が低下しつつあります。社会における存在価値を見い出せない物が必要であり、衰退していくものではありませんが、仏教はこの社会で求められなければならない。低下していく現実には我々は責任を感じるべきであります。前に上げられている項目は、いずれも僧侶の社会性を求めたものです。

仏教の興隆は在家信者によって維持展開されれば理想であります。が、現況はそこまで整備されていません。青年宗侶が先頭に立って活動を進めねばならない時であります。宗侶の社会性は活動を通して向上し、もって宗門の興隆ひいては仏教の社会性向上に繋がるものと思っております。

今期は「曹青活動は目を見張るものがある」といわれています。さだに混迷する社会に光を投げかける社会的な活動を展開することによって、社内で存在感を高め、仏教の社会性をアピールすることが可能です。青年会は同世代の宗侶の集まりとし、今なすべき活動に積極的に取り組むべきであります。

全曹青は各地の曹青を統轄する団体ではありませんが、地域曹青の連絡調整機関として、曹青活動に対する示唆・支援を行い、結果を促しながら青年宗侶としてなすべき社会的価値を持つ活動を展開し、地区曹青とともに仏教の社会性向上に計りたいと思っております。

今期はさらに、活動の原点を確認しつつ次の項目を上げて活動いたします。

- (一) 研修の充実
 - 研修委員会を中心に、会員の資質向上を目指して各種参考資料を提示し、各地の活動に供します。
 - 新し「神の集い」の形を求めて
 - 各地で新形態の「神の集い」が興っています。今期は特にアフターケアの問題を中心として新形態を提示してみたいと考えます。
 - 全曹青としての活動
 - 団体加入によって全曹青は全青年宗侶によって構成される全国で唯一の会という色彩がさらに強くなりました。全宗門をリードできる事業を計画いたします。
 - 青年宗侶の声の反映
 - 従来組織委員の「組織委員会」の性格を変え、会員の意志反映を図る委員会として積極的に青年宗侶の声を反映を図ります。
 - 全青年宗侶が積極的に取り組む活動
 - 「大衆教化の接点を求めて」のテーマの下に、宗門興隆ひいては仏教の社会性を高める活動を展開します。
 - 宗務局主催「神を聞く会」の協力
- (二) 団体の充実
 - 団体加入以後曹青には宗門青年会という意味あいがある活動が展開されています。宗門では今年度は全国互か所で「神を聞く会」を開催しますが、各曹青でも積極的な協力体制をお願いします。また、「神を聞く会」という活動は「神の集い」の新しい形態として今後必須な活動となりま

す。宗門布教への協力の中から青年会のため「神を聞く会」をまとめてみたいと思っております。

二、曹洞宗ボランティア会の活動支援

宗門の産んだ世界的活動である「曹洞宗ボランティア会」の運動は青年宗侶にとって積極的に支援すべき活動であります。全曹青としての活動支援また各地の曹青で支援活動が行なわれるような協力体制をとりたいたと考えます。

全曹青には過去六期にわたりそれぞれ展開されてきた十二年

の貴重な活動実績があります。また、執行形態として各委員会が形成されています。今期も現在の執行体制を基礎としますが、委員会については研修面の充実を図る意味で従来合同であった「事業研修委員会」を「事業委員会」「研修委員会」の二つにして対応いたします。

以上活動の基本姿勢を述べてまいりましたが、各地より各委員会に充実したメンバーをお送りいただいたいますので、事務局委員会・九となつて取り組む所存です。ご協力の程お願い申し上げます。

会のスムーズな運営を!!

事務局長 村松延行(静岡)



第七期全曹青役員が昭和六十一年度、理事会・評議員会・定時総会にて承認され、神野新会長が所信表明を披露、新執行部一丸となって運営されること確認されました。

事務局長としては、新会長の方針により、第六期に打ち出された「団体加入の継続・促進を旨に、加入者数約一千名という大所帯の意旨として、「信用と信頼を得る、スムーズな事務運営を計る」という重要な責任を感じております。

また、多岐に渡る、各委員会の事業等も、曹青通信等において、お知らせしたいと考えております。

お経ビデオ

生活にひろがるやすらぎの世界

日常勤行シリーズII

曹洞宗

その教えとお勤めの作法

第一部 曹洞宗日常勤行式
お経の唱え方と作法のチェック

第二部 お仏壇のまつり方とお勤めの作法
仏仏の意味と使用作法
お線香の作法・経本を持ち方・合掌、
礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法、木魚
小さんの打ち方 他

第三部 道元禅師のご生涯とその教え

● 小社へ直接ご注文の場合は、ご希望の商品名を(月かVHSかも)はっきりお書きのうえ下記宛現金書留にてお申し込み下さい。確認後、商品をお送りします。(郵送料は小社にて負担します)

〒110 東京都台東区台東4-27-5 秀和衛視ビル
東芝EMI(株)マーケティングセンター
TEL(03)837-0634

制作・発売 東芝EMI株式会社
●ご注文は、お近くのレコード店、ビデオ取扱店へどうぞ。

全国曹洞宗青年会の監修のもとに完成!!

●Bete hi-4i/カラ-49分
TT60-3028FI ¥6,000

●VHS hi-4i/カラ-49分
TT60-3028HI ¥6,000

総合企画委員会 部門委員会を 一つ新設



小原 弘 委員長
総合企画委員

前期執行部からの居残り組の一人ですが、今回、総合企画委員長という大役を任せつけられ、吉岡副会長がや役を離れたこと、神野新会長が目指すことを、企画、実行していきたいと考えています。

前会長は、「団体加入」の方式で、全国に全曹青への理解を深められました。私達もそれを踏まえて、さらに未加盟の地域にも、全曹青の在り方、考え方を説明し、理解を求めていくことが、現体制に課せられた重大な使命だと考えます。



第6期 吉岡副会長

全曹青第六期会長の退任することとなりました。

名譽ある大役を拝命したその日から、全曹青の事を汚さぬよう職責を全うすることに努めてまいりました。幸いにして素晴らしいスタッフに恵まれ、また各地青年会の絶大な協力を得ることができ、二年間の任期を大過なく円成することができました。これ偏らに皆々様のお力添えのおかげと、紙面を借りて深く感謝お礼申し上げます。

任期中に費した時間的・心理的

新設いたしました。

この委員会は組織、事業、研修、広報の四つの委員会の総合調整機能をはたすが、役割だと考えます。全体の流れの中で、今までバラバラに機能合していたものを、一つの流れの中で、互いに補い合い、作用し合う様に、そして俯瞰的な立場からの会の運営、執行に努力をしたいと思っております。

組織委員会 会員の意志反映を 図る



李 達 委員長
小島 重 委員

加盟団体 三六団体
会員総数 二八九九名
本年五月十九日現在の組織動態で申し上げます。まずもってご報告申し上げます。

(抜) 組織委員会で是新会長の経済的負担はそれなりに大きく、全国という大組織を掌握し運営していくことは必ずしも容易なことではありません。ましては、この間に費したものは決して浪費ではなく、自己を鍛え磨いてくれた応分の経費であり、何物にも替えがたい貴重な体験が出来たと思っております。さらに自分は、本当に幸福者だと心から感謝しております。特に単位曹青の枠内ではあるものの出来なかった各地青年会の活動から、新たな教化の方策

第六期全国曹青 会長を終えて 吉岡棟憲

あり、何物にも替えがたい貴重な体験が出来たと思っております。さらに自分は、本当に幸福者だと心から感謝しております。特に単位曹青の枠内ではあるものの出来なかった各地青年会の活動から、新たな教化の方策

方針に従い、

「団体加盟の継続及び未加盟団体への積極的なアプローチ」(青年宗侶の意見反映を企画し、全国状況等の把握)

「事業・研修両委員会と共に、今期テーマの地方展開の画策という二点を旗印として、名簿の管理及び整理を担当しながら委員会を運営致しました。

特に「青年宗侶の意見反映」に関しては、各団体曹青代表者の評議員諸師にアドバイスを受けて用紙を送付させていただきました。組織の一層の充実をはかり、「二世紀の宗門」というキャッチフレーズに、より大きなテッパンが描けるような活動を展開する礎とご理解賜り、青年宗侶としての忌憚無き声を寄せて下さいますようお願い申し上げます。

今朝、山梨県青年会より団体

加盟するとの朗報を受けました。この吉報を最後にお伝えし、就任の挨拶とさせていただきます。

研修委員会 悩みを生かそう



川 道 委員長
桂 研 委員

先般、ある会社の社員教育の一環として行われている、一泊研修会の手伝いに行つてまいりました。全国から集まった高校卒業の新人社員約三百名が、研修に来ています。

普段、若い人達と接する機会の少ない私にとつて、この様な座禅会は、若い人達の前で法話をする勉強にもなりますので、都合よくかき顔を返すようにしてまいります。自攻での普段の法話では若い人達の反応はありません。

法話の準備には大変時間がかかりましたが、天上天下唯我独尊」の話題を準備して法話に臨みました。

参禅者に何れなく「花まつり」を知っていますかと尋ねたところ、知っているのは一人だけです。ほとんどの人が聞いたこともないと言っておりありません。大変ショックを受けました。

大袈裟に言えば、法話も、日頃の青年会活動も、仏教興隆のために、微力ながらも一翼を荷っていますが、みごとに打ちのめされたのです。

「クリスマス、バレンタインデー」は全員が知っている、成道会、涅槃会、全員が知らなかったという現状を前にして、私の法話は「メロメロ」になってしまいました。

無宗教の時代と言われつつも、古いなどに興味を示す若い世代の様な世代にこそ、禅をアピールするには、と考えさせられます。

各地の曹青の活動の前に、もう一度よくこの現実を見せねばならないように思います。単に先輩が作った年間行事を消化しているだけなら、曹青活動は社会とますます遊離してしまいます。この現実をなんとかきき方を、この現実をなんとかきき方向に持って行きたいという願心が必要でです。曹青仲間を単なる遊び友達、輪の広がりとしてしまおうのか、願心と目的を持った仲間集いとするのか、皆で考えなおさねばなりません。自己の悩みが、地区の曹青に広がりそれが曹青の活動の原動力にならないかならないように思います。

全曹青に与えられた仕事は、その悩みを他地区の会員に伝え、共に悩み苦しみを話し合える場への橋わたしをする、ことだと思います。

悩み苦しむことは、青年宗侶の特権ではないでしょうか。

曹青委員会 ニューメディアの 開発に全力



村 光 委員長
川 道 委員

全曹青の組織確立が大きく前進したことを踏まえ、全会員が協賛参加できる事業を提起して行きます。

来年度の四月から奈良で初まる「奈良・シルクロード博」参画の検討を初め、曹洞宗ポータルサイトの支援を見直し、各地の曹青が支援体制を組むような事例を紹介するとともに、会員の親睦を深める青年僧侶として必要な事業の企画を提案したいと思っております。

現在、パソコンの普及には目をみはるものがあります。このパソコンを使い、通信網を利用して仏教情報の提供が出来るようなニューメディアを開発し、全国二万余の曹青パソコン通信会員と相互通信が出来るような物を作りたいと思っております。

当委員会開発した仏教教化用ソフトを主力し、仏事相談や法話のサービシ、寺院の事務管理などを行うことが可能になるはずでです。

また、こうしたシステムを紹介、各単位曹青への講演会へ講師の派遣なども実行して行きたいと考えております。

寺院墓地の新設 増設 改葬 お任せください。

新しい折りの文化を創造する

メモリアルアートの大野屋

本社/〒187東京都小平市美園町3-2-5 大野屋ビル ☎0423-44-4118

寺院墓地の二相談受付は

●大阪支店 ☎06-344-7778	●横浜支店 ☎045-312-4118
●京谷営業所 ☎03-486-7778	●浦和営業所 ☎0488-32-4118
●相模原営業所 ☎0427-54-4118	●船橋営業所 ☎0474-24-7118
●メモリアルカルチャーセンター ☎03-361-4118	

◆ 墓地の企画・造成をはじめ、開発・経営許可の申請手続きの代行、資金のご相談、永代使用申込者(檀家)の募集受付・管理業務、建築設計・施工請負など、すべてお任せください。

◆ 納骨堂、無縁供養塔の建立もお受けしております。

◆ 寺院仏教、檀家の方の仏壇、位牌のご注文も承ります。

お気軽にご相談ください。

総 会 資 料

昭和61年度全国曹洞宗青年会歳入歳出決算書

歳入合計 14,672,834円 歳出合計 14,875,787円
繰上金合計 2,187,771円 繰下金合計 4,902,953円

科 目	内 容	前年度予算	本年度予算	増減	内 訳
1 会 費		900,000	1,981,000	△ 1,081,000	
1 1 団体 会 費		700,000	465,000	△ 235,000	20,000 25,154
2 個人 会 費		20,000	1,516,000	△ 1,496,000	
3 特別 会 費		180,000	1,500,000	△ 1,320,000	
2 雑 収 入		750,000	465,000	△ 285,000	
1 研修 会 費 加 算		480,000	465,000	△ 15,000	前年、本年研修会への参加費
2 寺 務 加 算		270,000	0	△ 270,000	無算入
3 寄 附 金 等		9,700,000	9,656,441	△ 43,559	無算入
4 本 金 取 上 げ 金		500,000	210,000	△ 290,000	
5 雑 収 入		100,000	210,000	△ 110,000	前年度繰上金
1 雑 収 入		400,000	210,000	△ 190,000	前年度繰上金
2 雑 収 入		60,000	0	△ 60,000	
5 雑 収 入		38,528	149,021	△ 110,493	金銭利子、他
6 繰 上 金 合 計		1,611,472	1,611,472	0	前年度より
歳 入 合 計		10,500,000	14,972,943	572,943	

歳入合計 18,500,000円 歳出合計 11,840,787円

科 目	内 容	前年度予算	本年度予算	増減	内 訳
1 会 費		500,000	547,810	△ 67,810	1回開催
2 雑 収 入		800,000	418,780	△ 381,220	2回開催
3 寄 附 金 等		600,000	588,560	△ 11,440	2回開催
4 本 金 取 上 げ 金		1,500,000	1,024,912	△ 475,088	
2 本 部 費		200,000	419,644	△ 219,644	
1 事務 経 費		68,000	439,520	△ 371,520	全日本仏教青年会等
2 研修 会 費		230,000	79,124	△ 150,876	研修会
4 通 信 費		200,000	6,668	△ 193,332	資料送付
5 印刷 費		150,000	80,450	△ 69,550	資料送付
6 雑 費		30,000	30,000	0	50
3 福利 費		300,000	9,360	△ 290,640	1回開催
4 雑 収 入		3,240,000	2,947,088	△ 292,912	
1 委託 会 費 等		400,000	448,618	△ 48,618	会議、研修費
2 委託 会 費 等		1,400,000	1,980,000	△ 580,000	研修費、研修会、研修会、研修会
3 委託 会 費 等		100,000	161,680	△ 61,680	研修費
4 委託 会 費 等		540,000	454,730	△ 85,270	研修会
5 委託 会 費 等		800,000	800,000	0	
5 専 業 研 修 費		4,400,000	4,445,024	△ 45,024	754,979
1 委託 会 費 等		400,000	150,745	△ 249,255	会議、研修費
2 委託 会 費 等		1,080,000	747,110	△ 332,890	研修費
3 委託 会 費 等		620,000	600,000	△ 20,000	研修費、研修会
4 委託 会 費 等		300,000	147,333	△ 152,667	研修費、研修会
5 委託 会 費 等		3,400,000	4,519,979	△ 1,119,979	674,979
1 委託 会 費 等		450,000	162,875	△ 287,125	会議、研修費
2 委託 会 費 等		1,800,000	2,442,730	△ 642,730	研修費
3 委託 会 費 等		1,000,000	1,898,375	△ 898,375	
4 委託 会 費 等		150,000	99,999	△ 50,001	研修費
5 雑 費		90,000	0	△ 90,000	
6 雑 収 入		220,000	120,000	△ 100,000	
歳 入 合 計		18,500,000	11,840,787	△ 6,659,213	

昭和62年度曹洞宗青年会歳入歳出予算書(案)

歳入合計 14,400,000円 歳出合計 14,400,000円

科 目	内 容	前年度予算	本年度予算	増減	内 訳
1 会 費		1,000,000	900,000	△ 100,000	
1 1 団体 会 費		700,000	400,000	△ 300,000	20,000 40,000
2 個人 会 費		20,000	20,000	0	1,000 2,000
3 特別 会 費		180,000	180,000	0	0 0
2 雑 収 入		900,000	750,000	△ 150,000	
1 研修 会 費 加 算		500,000	480,000	△ 20,000	前年度研修会への参加費
2 寺 務 加 算		400,000	270,000	△ 130,000	前年度無算入
3 寄 附 金 等		9,700,000	9,700,000	0	前年度より
4 本 金 取 上 げ 金		600,000	500,000	△ 100,000	
5 雑 収 入		100,000	150,000	△ 50,000	
6 繰 上 金 合 計		2,187,147	1,611,472	△ 575,675	41年度より
歳 入 合 計		14,400,000	13,500,000	△ 900,000	

水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

流し燈籠

◆特長◆
 ●流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
 ●約30分位水面に浮き、その後完全に溶解します。
 ●無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
 ●回収の必要がまったくありません(諸官許許可済)

1基(大)700円 (小)360円

株式会社 光和

昭和61年度事業・行事報告

月 日	会 議・事 業	月 日	会 議・事 業
5.11	全青青年会総会議(本任役員選出の議決)	10.30	全青青年会総会議(本任役員選出の議決)
12	60年度全青青年会総会議(本任役員選出の議決)	11.12	第1回全国曹洞宗青年会大会(本任役員選出の議決)
12.13	祝賀会(本任役員選出の議決)		祝賀会(本任役員選出の議決)
	「チーム旗」について	12.5, 6	第1回曹洞宗青年会10周年記念式典
	「祝賀会」について	8-15	全日本仏教青年会総会議
	曹洞宗ボランティア会総会議	10	曹洞宗ボランティア会総会議
19	全日本仏教青年会総会議	22.23	全青青年会総会議
22.23	祝賀会(本任役員選出の議決)	1.13	全青青年会総会議(本任役員選出の議決)
31	曹洞宗第43号(第44号)発行		第5回曹洞宗文化学林大会
6.5	伝道はかき「命を懸けて」です。作成		第5回曹洞宗文化学林大会
13	曹洞宗ボランティア会総会議	24	曹洞宗ボランティア会総会議
18.19	第1回全国曹洞宗青年会大会	26	第1回全国曹洞宗青年会大会
7.3	全日本仏教青年会代表者会議	26	第1回全国曹洞宗青年会大会
	伝道はかき「命を懸けて」です。制作	2.2	曹洞宗文化学林大会
8.1	曹洞宗第43号発行	2.2	曹洞宗文化学林大会
7	曹洞宗第43号発行	22	曹洞宗第43号発行
9.2	曹洞宗第43号発行	28.1	第1回全国曹洞宗青年会大会
3	曹洞宗第43号発行	3.5	曹洞宗第43号発行
29	曹洞宗第43号発行	6	曹洞宗第43号発行
10.8	曹洞宗第43号発行	4.7, 8	曹洞宗第43号発行
8, 9	曹洞宗第43号発行	19	曹洞宗第43号発行
15	曹洞宗第43号発行	18	曹洞宗第43号発行
15.16	曹洞宗第43号発行	18	曹洞宗第43号発行
	曹洞宗第43号発行	19	曹洞宗第43号発行
22	曹洞宗第43号発行	60年度曹洞宗総会議	

昭和62年度全国曹洞宗青年会年間事業計画(案)

月	事業計画	実施委員会	単任委員会	研修委員会	広報委員会
1	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
2	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
3	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
4	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
5	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
6	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
7	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
8	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
9	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
10	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
11	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
12	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
1	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
2	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
3	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会
4	曹洞宗青年会総会議	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会	曹洞宗青年会

第8回禅文化学林・スリランカ研修収支決算書

収入合計 4,940,000円 支出合計 4,940,000円 差引残金 0円 (昭和62年5月15日)

(収入内訳)

科 目	金額	内 訳
1 参加 費	3,860,000円	有料研修108名・35,000円(初級8名・10,000円)
2 協 賛 費	300,000円	全青青年会より
3 協 賛 費	500,000円	セミナー費より
4 返 金	156,000円	コロンボ市立若者26名・6,000円
5 雑 収 入	124,000円	赤坂・筑前・新大・博多
合 計	4,940,000円	

(支出内訳)

科 目	金額	内 訳
1 不老胸材費	1,000,000円	研修(研修50,000円・礼金500,000円) 郵送料200,000円) その他250,000円)
2 講師 料 費	400,000円	研修(研修100,000円・礼金300,000円)
3 観 衆 交 流 費	1,600,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
4 研 修 費	450,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
5 全 議 費	220,000円	会議(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
6 友 誼 交 流 費	370,000円	12月8日・10日・12日(研修1,465,000円・大津300,000円)
7 謝 礼 金	250,000円	在席・研修・研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
8 礼 券 費	310,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
9 下 宿 費	100,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
10 収 入 公 費	150,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
11 雑 費	90,000円	研修(研修1,465,000円・大津300,000円) 研修(研修1,465,000円・大津300,000円)
合 計	4,940,000円	